

会社側がゼロ回答

水俣漁協
関係委

解決の糸口つかめず

水俣市漁協紛争調停委員会は五日午前十時から熊本市水前寺荘に新日鐵水俣工場と水俣市漁協の両当事者代表を呼び、第二回目の委員会をひらいた。しかし工場側が従来の主張どおり、「新補償は考えられない」とゼロ回答したため、紛争解決の糸口はこの日もつかめなかった。

漁協側が二億八千万円の補償を

要求したのに対し、会社側がゼロ回答したもの。席上会社側は失業状態にある漁民を、誠意をもって工場に雇い入れたい旨をのべたが、漁協側は補償問題の解決が先決であるとして譲らず物別れに終わった。

次回は来週早々にひらかれ、千原新日鐵事務も出席する予定。